

4月・月例研修会報告

* 室生の里お花見ツアー *

羽尻 嵩

*実施日：4月11日(火)

*参加者：女性14名 男性12名 計26名

*行程をマイクロバスにて移動する。

朝から雨・雨・雨・・・それでも参加者の皆さんは「いい天気ですね」と集まって来た。感激。

佛隆寺は、空海の高弟の堅恵(けんね)により室生寺の南門の末寺として創建されたとされる。ここには、この寺へ通じる197段の階段の途中に奈良県最古の桜の樹がある。さて、花は・・・とその樹に目をやるが、下から見上げて上から見下ろしても見事に蕾のままだった。それでも樹齢千年の巨木の存在感は迫力があり、「もう一度咲いた頃に見に来よう」とカメラを向ける人もいた。



寺の奥には珍しい形の堅恵の墓や大和茶発祥の地の碑もあり、雨に濡れていた。

室生寺についた頃には雨も小降りになってきた。満開の桜を愛でながら川沿いを歩く。観光客はまばらで、ゆったりと龍穴神社へ向かう。

龍穴神社は古くから雨乞いの神事が行われてきたパワースポットだ。桓武天皇が皇太子の時、ここでの病氣平癒の祈祷によって健康を取り戻したので、そのお礼にと近くに寺院を造らせたが、その寺院が室生寺といわれている。

この奥には龍の住む龍穴があるが、今回は雨のため行くのを止めた。

昼食は、国による地滑り対策の記念として作られた「あさぎりの里公園」のホールでとる。

運良くその体育館を貸切りで使わせていただくことができた。

用意したシートの上に座り、昼食タイムとなり、ドリンクやつまみも出て、和気あいあいと話の花も咲き、花見の宴となった。



昼食後は、雨が小降りになってきたので、公園に出てみた。公園にはレンギョウをはじめ、季節の花々が咲き、眼下には室生の里が箱庭のように広がって見えた。

次に向かったのは西光寺。この寺のお堂の横には大野寺の親木と伝えられている樹齢300年以上のシダレザクラがある。この日は5分咲きぐらいだったが、えもいわれぬ優美な姿で私達を迎えてくれた。記念写真も笑顔でバッチリ。極楽浄土とはこのようなところか。



最後の**大野寺**は、古くから室生寺の末寺で「室生寺の西門」と呼ばれてきた。このシダレザクラは満開だった。

また、宇陀川を挟んだ対岸には岩壁に彫られた13.8mの弥勒菩薩立像があり、皆さんそれをバックに写真を撮っておられ、雨天に華を添える参加女性達の写真も紹介したいですが、紙面が詰まったのでこれで終わりとなります。